

# 日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会

## 活動報告

### 男女共同参画学協会連絡会 第11期第5回運営委員会開催

とき：2013年8月28日（水）

ところ：東京大学本郷キャンパス 東京都文京区

～トピックス～

○第3回大規模アンケートのデータ解析が終了し、第11期男女共同参画学協会連絡会シンポジウム（2013年10月7日 東洋大学にて開催）で報告されます。

○Science 2013年4月26日号に大坪久子先生のグループから日本の女性研究者支援や男女共同参画に関する論文が掲載されました。

Japan's Lagging Gender Equality Vol 340, pp428-430, 2013

勉強会：

「女性科学研究者の環境改善に関する懇親会（JAICOWS）の歩み（1995年～）」

原ひろ子先生（城西国際大学客員教授、御茶の水女子大学名誉教授）

JAICOWS（Japanese Association for the Improvement of Conditions of Women Scientist）は、女性科学研究者の人権を守り、研究条件、生活保障がよりいっそう改善されることを目的として1994年に設立されました。演者である原ひろ子先生は文化人類学をご専門に設立当時から活動され、2003年に会長に就任されました。

今回の勉強会では、国連・日本政府・日本学術会議・JAICOWSのそれぞれの沿革と活動に関する資料を示され、これまでの動向についてお話されました。勉強会で示された年表は1945年に国連が正式に発足し、その翌年には国連婦人の地位委員会が設立されたことから始まります。国内では国連・国際社会の動向に対応した形で、1985年に男女雇用機会均等法の公布、1991年育児休業法の公布、1994年男女共同参画推進本部設置がなされてきたことが示されています。JAICOWSのこれまでの主な活動として、保育問題、研究活動における通称使用、非常勤講師の科研費申請資格に関する改善が挙げられます。JAICOWSを含む多く

の先生方が長い期間、取り組まれてきた活動の成果が、現在の法律の制定や研究環境の改善に表れております。

近年、勤労に関する考え方・働き方などは多種多様化しており、世代によって受けてきた教育や体験が異なるため、男女共同参画に対する認識も様々であります。そのため、今後は、女性研究者の環境改善のみならず、ジェンダーの視点から、日本の学術の在り方に関して積極的に取り組んでいきたいとお話でした。

～配布資料より～

内閣府 男女共同参画局「カエル！ジャパン」キャンペーン ポスターより

ひとつ「働き方」を変えてみよう！

たとえば・・・

- 朝、To do リストを作ってみる → 仕事の優先順位が見える！
- 会議はみんなで1時間と決めてみる → 議題を進めるためムダ話が減る！
- 明日の分の1時間を今日やってみる → 明日に余裕が生まれる！

以上.